

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	都市計画道路の整備	施策No	12-02	部課名	防災都市づくり部基盤整備課
関連部課名	防災都市づくり部住まい街づくり課				
行政評価 事業体系	分野	VI	安全安心都市		
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備		

目的
街の骨格を形成し、安全で円滑な交通空間を確保するために、広幅員の歩車道や植栽帯及び自転車専用通行帯等を備えた都市計画道路の整備を行う。また、街路整備とあわせて無電柱化を推進し、安全な避難路や延焼遮断帯として機能させ、防災性の向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		3年度	4年度	5年度	
①	まちなみの良さ	3.02	3.03	3.04	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
②	防災性	2.32	2.29	2.35	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？
③	安全・安心の実感	2.76	2.74	2.75	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		3年度	4年度	5年度	6年度 見込み	目標値 (8年度)	
①	都市計画道路の整備率（%）	58.1	58.1	58.1	58.1	69.3	完成5,160m/計画8,886m
②							
③							
④							
⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	行政収入	勘定科目	4年度	5年度	差額
	行政費用	給与関係費	30,229	30,606		377	地方税等	0	0
	物件費	145,682	1,248	▲ 144,434	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	52,448	44,952	▲ 7,496	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	52,448	44,952	▲ 7,496	
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,973	3,308	335	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 143,254	▲ 183,394	▲ 40,140	
	その他行政費用	16,818	193,184	176,366	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	195,702	228,346	32,644	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 143,254	▲ 183,394	▲ 40,140	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 143,254	▲ 183,394	▲ 40,140	

貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0		0	流動負債	1,604
	不納欠損引当金	0	0	0	# 還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	# 特別区債	0	0	0
有形固定資産	有形固定資産	5,124,667	5,611,763	487,096	# 賞与引当金	1,604	1,890	286
	土地	5,124,667	5,611,763	487,096	# その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	14,955	17,620	2,665
	建物減価償却累計額	0	0	0	# 特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	# 退職給与引当金	14,955	17,620	2,665
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	# その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	16,559	19,510	2,951
建設仮勘定	建設仮勘定	204,882	260,838	55,956	正味財産	5,312,990	5,853,091	540,101
その他の固定資産	その他の固定資産	0	0	0	正 # # # # #	5,312,990	5,853,091	540,101
資産の部合計	資産の部合計	5,329,549	5,872,601	543,052	負債及び正味財産の部合計	5,329,549	5,872,601	543,052

財務諸表に関する特的事项等

○事業用地の取得を進めるために、関係権利者との折衝や遠方に在住している土地所有者等への説明などに多くの時間と経費を要している。
 ○都市計画道路補助第193号線の用地取得業務委託及び建物等調査・補償算定業務委託の経費については、令和5年度から「物件費」から「その他行政費用」に移している。
 ○令和5年度の「その他行政費用」には、境界確定のための復元測量や現況測量、道路線形検討業務の経費が計上されている。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○都市計画道路については、平成19年度に補助第306号線、平成22年度に補助第107号線の整備完了以降、整備率58.1%に変動はない状況である。</p> <p>○現在事業中の路線は、補助第193号線（第一期区間）、補助第331号線、補助第321号線の3路線である。なお、補助第193号線第二期区間については、令和6年9月に東京都から事業認可を取得する予定である。</p>
課題	<p>○都市計画道路の整備に当たっては、事業用地の取得が不可欠であるが、複雑な権利関係による用地交渉の難航や土壌汚染対策の解決に向けた調整などに時間を要している。</p> <p>○用地買収が完了した補助第331号線については、既存道路との交差処理の関係から、一部区道の通行経路が変更となるため、地域住民等に対して丁寧な説明が必要である。また、鉄道との交差点の施工や無電柱化を行うために、鉄道事業者、占用企業者との調整が必要となる。</p> <p>○補助第193号線については、土地所有者と借地権者との関係やそれぞれの相続関係等の理由により、用地交渉に時間を要している。</p> <p>○補助第321号線については、研究施設や倉庫など建物の配置、土壌汚染対策等、事業再建に関する課題整理のため、権利者との交渉に時間を要している。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画道路は、交通、景観、防災など、さまざまな分野において欠かすことのできない重要な都市施設であることから、早期完成を目指し取り組んでいく。</p> <p>○補助第331号線については、効率的な整備手法の検討を行い、施工手順や整備後の交通規制等の変更内容等について、早めに周知を行っていく。また、整備工事を円滑に進められるよう、鉄道事業者や占用企業者などの関係者と綿密な調整を行う。</p> <p>○補助第193号線第一期区間については、関係機関と連携しながら権利者との用地交渉等を積極的に進めていく。また、第二期区間については、事業認可取得後に用地説明会、建物調査を実施し、令和7年度から用地取得に着手する。</p> <p>○補助第321号線については、粘り強く権利者との交渉を進めた結果、令和6年度に用地測量を実施し、令和7年度には建物等調査を行う予定であり、事業進捗に向けて動き出している。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	都市計画道路の整備は、街の防災性向上や安全な交通空間確保等の観点から、優先順位を定めて計画的に推進していく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
都市計画道路用地取得事務	11-02-17	154,554	165,867	145,483	156,221	重点的に推進	重点的に推進	街の骨格を形成し、防災性の向上等に寄与する都市計画道路の整備に伴う用地取得は、計画を実現するための最も基礎的で重要な要素であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助193号線整備事業	11-04-02	22,101	19,471	235,366	508,631	重点的に推進	重点的に推進	本路線の整備は、地域危険度の高い町屋・尾久地区に導入した不燃化特区制度のコア事業であるため、重点的に推進する。
都市計画道路補助321号線整備事業	11-04-11	3,756	32,315	704	28,929	推進	推進	街の骨格をつくり、地域の防災性向上に寄与する事業であるため、推進する。
都市計画道路補助331号線整備事業	11-04-12	15,292	10,695	134,114	43,703	重点的に推進	重点的に推進	JR等の鉄道で分断された南千住地域を東西に結ぶ本路線は、平時の安全で円滑な交通の確保だけでなく、広域避難場所「都立汐入公園一帯」への避難路としての機能も担うため、整備を重点的に推進する。
合計		195,703	228,348	515,667	737,484			